

調査名	分析				実施結果 (正答率)																																															
<p>区 学力調査 全学年</p>	<p>本校の数値目標は、本区「学力向上のための調査」に対して、前年度の結果 (区平均) に対して、3%以上向上させることである。</p> <p>左の表のとおり、3年生については、昨年度に比較して4教科下回った。2年生については2教科に下回った。</p> <p>数値目標を達成できた教科は2・3年生ともに1教科であった。学年によって課題は異なっていることが想定できる。学力調査結果や i-check を活用して、課題を発見して解決させる。</p>				<p>区</p> <p>1年 国 63.9 社 47.0 数 67.3 理 57.3 英 61.8</p> <p>2年 国 71.8 社 51.1 数 59.5 理 44.9 英 64.1</p> <p>3年 国 64.7 社 50.2 数 56.5 理 46.9 英 58.9</p>	<p>自校</p> <p>1年 国 62.9 社 47.7 数 65.2 理 58.3 英 61.5</p> <p>2年 国 73.1 社 50.8 数 64.5 理 46.8 英 65.1</p> <p>3年 国 62.6 社 49.7 数 62.6 理 56.0 英 61.5</p>																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">3年生</td> <td>国語</td> <td>101%</td> <td>97%</td> <td>-4</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>106%</td> <td>99%</td> <td>-7</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>112%</td> <td>111%</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>111%</td> <td>119%</td> <td>+8</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>110%</td> <td>104%</td> <td>-6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2年生</td> <td>国語</td> <td>104%</td> <td>102%</td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>102%</td> <td>99%</td> <td>-3</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>99%</td> <td>108%</td> <td>+9</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>103%</td> <td>104%</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>英語</td> <td>100%</td> <td>102%</td> <td>+2</td> </tr> </tbody> </table>		27年度	28年度			増減	3年生	国語	101%	97%	-4	社会	106%	99%	-7	数学	112%	111%	-1	理科	111%	119%	+8	英語	110%	104%	-6	2年生	国語	104%	102%	-2	社会	102%	99%	-3	数学	99%	108%	+9	理科	103%	104%	+1		英語	100%	102%	+2		
		27年度	28年度	増減																																																
	3年生	国語	101%	97%			-4																																													
		社会	106%	99%			-7																																													
		数学	112%	111%			-1																																													
		理科	111%	119%			+8																																													
		英語	110%	104%			-6																																													
	2年生	国語	104%	102%			-2																																													
		社会	102%	99%			-3																																													
数学		99%	108%	+9																																																
理科		103%	104%	+1																																																
	英語	100%	102%	+2																																																
<p>都 学力調査 中2</p>	<p>東京都「学力向上のための調査」に対しての本校の数値的目標は、全教科において、東京都の正答率を上回ることである。</p> <p>左の表のとおり、理科のA問題と合計正答率のみの目標達成にとどまった。</p> <p>2年生の学力は本区調査を含め、入学以来1年間では相対的には伸びていない状況にあると考えている。</p>				<p>都</p> <p>2年 国語 71.1 社会 57.8 数学 56.7 理科 55.2 英語 55.6</p>	<p>自校</p> <p>2年 国語 67.8 社会 52.7 数学 52.3 理科 55.6 英語 51.8</p>																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計正答率</th> <th>A問題</th> <th>B問題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>96%</td> <td>96%</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>91%</td> <td>92%</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>93%</td> <td>93%</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>101%</td> <td>103%</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>94%</td> <td>95%</td> <td>90%</td> </tr> </tbody> </table>		合計正答率	A問題			B問題	国語	96%	96%	96%	社会	91%	92%	89%	数学	93%	93%	92%	理科	101%	103%	94%	英語	94%	95%	90%																									
		合計正答率	A問題	B問題																																																
	国語	96%	96%	96%																																																
	社会	91%	92%	89%																																																
	数学	93%	93%	92%																																																
	理科	101%	103%	94%																																																
英語	94%	95%	90%																																																	

全国学力調査 中 3	教科	達成率	「全国学力学習状況調査」に対しての本校の数値的目標は、全教科において、全国の正答率を上回ることである。 数学Bにおいて、全国の正答率を上回ったが、他の3項目は平均には近いが、わずかに足りない状況であった。	全 国	自 校		
	国語A	96%		3年	3年		
	国語B	99%		国語A	75.6	国語A	72.9
	数学A	97%		国語B	66.5	国語B	65.8
	数学B	103%		数学A	62.2	数学A	61.7
			数学B	44.1	数学B	45.5	

<平成29年度の具体的方策>

平成28年度は、2・3学年ともに前年度から正答率が低下した。学力の向上には全ての教育活動、家庭学習の質の向上と連携が不可欠と考える。

教員の授業力向上研修会、生徒集団理解のQ-Uの実施とその活用、授業規律の確立、部活動や各種検定の推進・コンクール等の出品等自分の得意の伸長を図り、自己肯定感、自尊感情を高める指導にアクティブラーニングやキャリア教育の視点を入れた学力の向上を目指してきた。各種学力調査結果から、残念ながら本年度は十分な成果を得られることができなかった。i-checkの結果から家庭学習の質の向上が課題であることが明確になった。本年度までの教育活動に工夫・改善を加え、次期学習指導要領の公表をされそのことを含め、平成29年度は以下のように進める。

①次期学習指導要領の視点を導入した授業改善

主体的、協同的な学習場面を設定させ、思考力・判断力の育成、また、ICT機器を活用して分かりやすい授業を展開させるとともに、それらを活用させ表現力を育成し深い学びを目指す。

②家庭生活を改善し家庭学習の充実

学力の向上には、授業と家庭学習の充実が欠かせない。昨年度よりもSNSと情報端末の適正な活用を指導を強化し、一定の課題を持ち帰らせ、家庭学習の時間を確保させるとともに、家庭学習の方法の指導を行う。学習習慣を身に付けさせることで、確実な基礎・基本の定着を目指す。

③研究推進校としての役割を果たす中での授業力の向上

本年度、本校は本区の研究奨励校として、主体的に学習する生徒の育成と文部科学省の英語拠点校としての研究を進める。これらの研修をとおして授業力の向上を目指し、生徒の関心意欲を高め分かる授業を行い学力の定着・向上を図る。

④指導方法の工夫・改善の推進

東京ガイドラインに従って、生徒の状況や単元の内容、習熟度に応じた適正な学習集団を編制させ、効率的な学習方法で授業を実施する。また、ティームティーチング、少人数指導をとおして、個に応じた指導を推進する。

⑤補充学習の推進

あらかわ寺子屋事業を活用して、基礎基本の補充・定着、既習事項の振り返りをはじめ、三検定合格を目指し、得意を伸ばす指導を進めながら、キャリア教育の視点を入れ学習の必要性を認識させ、主体的に学習する態度を育てる

